

平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	都市計画 (Urban planning)		授業コード	L040901
担当教員名	菅 雅幸		科目ナンバリングコード	L30409
配当学年	3	開講期	前期	
必修・選択区分	コース選択必修 環境・地域コース 環境地域(まち)コース 環境地域(社会)コース 選択 建築コース インテリアデザインコース 建築設計コース 建築工学コース 住居・インテリアコース	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	特にありません。			
受講心得	配布資料、視聴覚資料の内容を中心に講義を行いますので、休むとわかりにくくなります。必ず出席するように心掛けてください。講義の終わりに課題を出します。内容は講義のまとめですので、必ず作成、提出してください。			
教科書	建築基準法関係法令集(建築資料研究社)日建学院編			
参考文献及び指定図書	都市計画 朝倉書店 萩島 哲 編、菅 雅幸 他著 都市計画 都市の機能と街づくりの考え方 谷口 守著 立地論入門 松原 宏編著 テキスト ランドスケープデザインの歴史 武田 史郎、山崎 亮、長濱 伸貴編著 基本まちづくり事典 まちづくり研究会編著			
関連科目	ランドスケープ、建築計画、建築法規、流域生体論など			

授業の目的	都市計画を社会常識として知っておくべき内容だけでなく、一級建築士学科試験、宅地建物取引主任者試験、ビオトープ管理士2級試験に出題されている内容に則したつもりである。この講義を機会に、各種の資格取得にチャレンジする事を期待します。
授業の概要	第1回都市計画について必要とされる基本的知識を理解し学びます。第2回目～第7回目までの講義は、一級建築士 学科Ⅰ「計画」、学科Ⅱ「法規」において都市計画が関連している内容に準拠し、第8回目～第12回目は都市計画関連法、環境配慮、環境関連法について解説します。第13回目～第15回目までの講義は、都市計画マスタープラン、これからの都市の将来、防災計画について解説します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週～第2週:なぜ都市ができるのか 現代都市の問題、都市の進化とプランニング、暮らしを支える都市、豊かな都市空間を考える等、身近な問題を通じて、認識を新たにしてもらいます。	配付資料 演習課題
第3週: 都市計画(計画) 建築基準法等に基づく、制度、事業、交通計画に用いられる用語等について解説します。また、代表的な都市計画家・都市理論研究者と主な提案内容や、都市計画用語などについて解説します。	配付資料 演習課題
第4週: 住宅地計画(計画) 住宅地計画を考える基本となる、住宅地の構成や、環境計画を考える上で重要となる都市公園などについて、また、それらの計画を実践した代表的なニュータウンの例などについて解説します。	配付資料 演習課題
第5週: 要点の整理、小テスト 都市計画・住宅地計画について、解説した内容を整理し、理解してもらうために、小テストを行います。	配付資料 演習課題
第6週: 都市計画法①	

都市計画法の中から、都市計画区域の内容、都市計画の制限など内容を解説します。		配付資料 演習課題
第7週：都市計画法② 都市計画法の中から、都市の開発行為、開発許可に関する内容を中心に解説します。		配付資料 演習課題
第8週：都市計画関連法① 都市計画に関連する、景観法、都市再開発法、密集市街地整備法、歴史まちづくり法、急傾斜地崩壊危険区域、沿道法、国土利用計画法等について解説します。		配付資料 演習課題
第9週：都市計画関連法② 都市計画に関連する、農地法、土地区画整備法、宅地造成等規制法、その他の法令について解説します。		配付資料 演習課題
第10週：要点の整理、小テスト 都市計画関連法の内容を整理し、理解してもらうため、小テストを行います。		配付資料 演習課題
第11週：立地論 都市計画を理解する上で、経済地理学の考え方が重要です。そこで、立地論の基礎について学びます。		配付資料 演習課題
第12週：まちづくり 地域の活性化のために、魅力の再発見や住民の意識改革が行われる、まちづくり・まち起こしの事例を基に、自治体やコンサルタント、市民参加等の関わり方、仕組みについて解説します。		配付資料 演習課題
第13週：都市計画マスタープラン 景観デザイン、地区計画等を中心に、都市計画マスタープランを定めることによってどのように変わるのか。都市計画マスタープランを定めるために必要なことなどについて解説します。		配付資料 演習課題
第14週：これからの都市の将来 コンパクトシティ、持続可能社会の実現をめざした都市、環境配慮型都市など、これからの都市のあり方に関して解説します。		配付資料 演習課題
第15週：防災計画 日本学術会議、防災学術連携体の報告を参考に、防災・減災・災害復興の今を知ってもらうとともに、衛星情報・地理情報のイノベティブな活用方法、将来計画を紹介する。		配付資料 演習課題
第16週：期末試験 これまでの講義内容を範囲とした期末試験を行います。		配付資料 演習課題
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目	カテゴリー III：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	私たちがとりまく、社会問題に興味を持ってください。
【知識・理解】	計画学はもとより、経済地理学、統計学、環境分析等、広範囲な知識に触れます。
【技能・表現・コミュニケーション】	都市計画の分野に関連している各種資格取得に必要な基礎知識を網羅しているのでしっかり学習してください。
【思考・判断・創造】	人間が集団で生活してゆくと何が起こり、何が必要になり、どうして行くべきかを学んでもらいます。

○成績評価基準(合計100点)	合計欄	100点
------------------------	-----	------

到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	10点		30点
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	15点	15点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	30点		

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	毎授業ごとに理解度のチェックのため、課題を出題提出してもらいます。
発表・その他 (無形成果)	必ず出席し、提出物を出す。